

第40回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	高ゼミⅡ
チーム名	semiconductor
タイトル	日本と韓国の半導体産業
テーマ群	d) 国際経済
メンバー	◎朴昌鎬 田本豊 木村竜太 増田圭祐 梶原ほなみ 田中優衣 新美恵梨子
研究計画内容	<p>近年、急速に成長し頭角を現した韓国企業“サムスン” 液晶テレビや携帯など、低コストで満足できるパフォーマンスで日本でも世界的にも知らない人は少ないと思います。最近だとスマートフォンのギャラクシーなども有名ですね。</p> <p>そんなサムスンの半導体事業での、かつて半導体産業のトップであったアメリカを打ち倒した日本との戦い、また逆転について を中心に両国はどのような戦略をとっていたのか？ 市場は何を求めていたのか？ 当時の環境はどのようなものだったのか？ など下記のような流れで研究し、発表していこうと考えています。</p> <ol style="list-style-type: none">1、半導体・DRAM とは？ またサムスンとは？ ～単語についての簡単な説明。2、半導体産業の特徴 ～シリコンサイクルについての説明。3、韓国逆転劇の理由<ol style="list-style-type: none">① 日韓企業の戦略の変質② 日韓企業の投資戦略の優劣③ 日本企業の環境変化 <p>ここから韓国と日本との半導体事業の戦いで、韓国の戦略がどのように時代にマッチしていたか？ 日本の戦略のどこが悪かったのか？ 方向修正は出来なかったのか？ など湧き出た疑問をわかりやすく解説していきます。</p> <p>今や有名企業となって、華やかな印象しかないサムスンですが、どのような経緯でここまで成長したのかを知った上で、新しい目線で見えて新たな発見をしてください。</p>

